

摩擦実験器 FTF-50

このたびは、摩擦実験器 FTF-50 をご採用いただき、誠にありがとうございます。
ます。

ご使用の前にこの取扱説明書をお読みのうえ、有効に活用ください。

本器は、物体が移動するときに生じる動摩擦力を、ばねばかりを利用して、定量的に測定し、仕事と動摩擦力との関係を理解するための実験装置です。

特 長

- 摩擦体には、大小2面の摩擦力を待たせており、容易に比較実験がおこなえます。
- 摩擦体におもりを負荷させることにより、仕事と摩擦力との関係を調べることが可能です。

1. 器具内容

- | | | |
|----------|-------|--------------------|
| 1. 摩擦体 | | 1 (約 250g, 塩化ビニル製) |
| 2. 滑走面 | | 1 (トレスパ製) |
| 3. おもり | | 4 (250g, ダイキャスト製) |
| 4. ばねばかり | | 1 (秤量 1kg) |

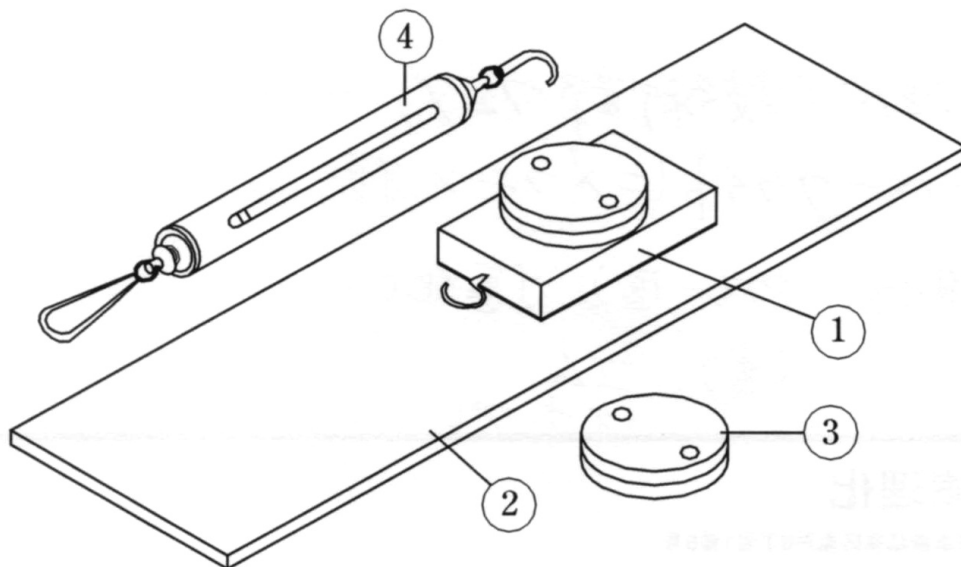


図1 構成図

2. 実験手順

1. 滑走面のうえに、摩擦体を置きます。
2. 摩擦体のフックにはばねはかりを引っ掛け、ゆっくり引きます。
3. 動き出してからばねはかりが安定したら、その時の値を読み取ります。

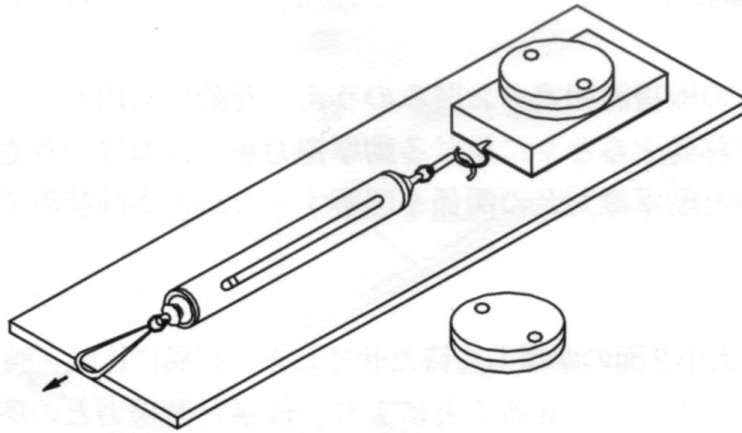


図2 実験

3. 実験例

1. 摩擦体の滑走面の接触面を、ゴム板と樹脂面とでの違いを見ます。
2. 摩擦体におもりを載せていった時それぞれの値を読み取ります。